

令和元年度 文京区立礪川小学校 授業改善推進プラン

＜ 6 年 ＞

教科	現状分析	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査の結果から本校の傾向を分析すると、平均的に10～15%正答率が全国を上回っている。 ・グループディスカッションや、意見交換会等、話し合いへの関心や意欲が高い。 ・目的や意図に応じて必要な内容を整理し、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えを書くことに課題がある。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書くことでは、段落ごとにどのような内容を書けばよいかを考えたり、自分の考えを一貫して述べたりすることに注意できるようにさせる。また、終結部に全体のまとめを書くなど、読み手が考えを理解しやすいように書き方を工夫できるようにさせる。 ・同じ音や同じ部分をもつ漢字の違いを理解し、文脈の中での使い分けができるようにさせる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や資料集などから、必要な情報を的確に読み取ることができ、まとめることもできる。 ・歴史が好きな児童が多いが、関心のもてない児童もあり、その差が大きい。 ・読み取った内容から自分で考えて結論を導き出したり、歴史上の事象にどのような意義があるのか考えたりすることに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板や資料集などを活用し、資料をたくさん提示することで、継続的に歴史的事象に触れさせる。その資料から読み取れる内容を自分自身で分析しグループ・全体で交流させることで、社会的な思考力を育てていく。 ・「歴史上の事象から学んだことを現代の生活にどのように生かせるのか」という視点を常にもち学習を進めていくことで、児童が歴史を学習する意義を感じられるようにさせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査の結果から、本校の傾向を分析すると、平均的に10%程、正答率が全国を上回っている。 ・知識理解、資料の読み取りに関しては、90%以上の正答率である。 ・計算の仕方を解釈して適用したり、発展的に考察したりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度に差があるため、習熟度別の学習の場を活用し、児童に合った指導ができるようにしていく。 ・数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を見い出したり、数や場面を変えても計算に関して成り立つ性質を活用できるかどうかを考察したりすることができるように指導する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・理科に対しての興味・関心が高い児童が多い。 ・実験の方法や過程、結果を記録することはできている。 ・生物分野に関しては、今年度は気候・天候に左右され、ねらい通り学習を進めていくことが難しかった。 ・「結果」と「考察」の違いを理解し、表現することが今後の課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科的事象に対しての「予想、実験、結果、考察」を通して、思考の流れを整理し、まとめることができる授業展開を取り入れていく。 ・理科支援員と連携して、正しい理科の器具、薬品の使い方、安全についてなど、基礎基本をしっかり身に付けさせる。 ・調べ学習では、模型や電子黒板などの視覚教材を使った授業を展開し、理解を深めさせる。 ・気候・天候に左右されても学習が進められるよう、デジタル教材を活用する。 ・デジタル教材を使用する場面を意図的に設定し、授業展開の中で効果的に活用する。

音楽	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人課題意識をもち、落ち着いて積極的に学習に取り組もうとする姿勢が良い。 積極的に器楽の練習を重ねる児童が大変多く、友だちと教え合いながら演奏の仕方を工夫している。 二部合唱に興味をもち、音の重なりに積極的に取り組めるようになってきている。変声期の児童も増えてきているが、伸び伸びと響きのある声で歌うことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して伸びやかに表現できる学習環境となるよう、失敗してもよい空間であることを伝え、学習の過程を大切にして、良い点を賞賛して認めていく。 児童の主体性を伸ばし、演奏の技術を高めたり創意工夫したりできるような環境を整える。 発声、ブレス、響きに注意を向かせて、自信をもって歌えるように指導助言していく。また、高音域・中音域に響きをもたせていけるよう指導を工夫する。歌うことに抵抗感をもち始めている児童には、変声に関わるかどうかを慎重に見ながら指導・助言していく。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 楽しみながら表現している。経験したことのない材料や用具には特に意欲的に取り組み、自分の表したいことを実現できるよう、表現の方法を組み合わせようとしていたり、新しい方法を生みだそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の表したいことを実現できるように、自分の感覚や今までの経験、新たな材料や用具を総合的に生かせる題材を多く設定する。また、自然に相互鑑賞が行えるような場を設定し、表現の意図や特徴などをとらえられるようにする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 朝食作りや洗濯などの体験的・実践的な活動をでは、積極的な姿勢が見られ、意欲的に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> エプロン製作を行う際には、事前にミシンの取り扱いや縫い方について既習内容を確認してから取り組ませるようにする。 授業において興味関心をもって取り組めるように、実技を取り入れた授業展開を考えていく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動に意欲的に取り組む児童が多い。 ボール運動等では、チームのふり返りの時間でチームの現状分析ができる。個々の振り返り力には課題がある。 日々の運動の機会、習い事などの影響もあり、運動能力や体力の個々の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する解決策が提示してあるような学習カードを活用したり、成果や課題に対する価値付けを綿密に行ったりできるようにさせる。 運動量の確保をし、技能に課題のある児童への手立てを講じる。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 感動、共感、範例、批判的に教材に関わらせることで、多面的に物事を考えることができている。 自我関与したことで実生活を振り返る際に、よりよく生きようと前向きになっている。 学習指導要領に記載されている目標に近付けられることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 1単位時間の中に対話をする時間を必ず設定していく。 教材、発問を分析し、主体的で対話的で深い学びを実現できるようにする。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 外国語に対し興味関心をもって学習に取り組むことができた。 児童は単語をたくさん知り、自由に話せるようになりたい気持ちが強い。 今後は英語を話したり、書いたりする際に接続語などを使って、より高度な表現ができるよう指導していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の児童ばかりが話すのではなく、クラスの児童が公平に発言できるよう、意図的に指名したり、グループ活動を取り入れたりする等の活動を工夫する。 「しかし=but」など、表現については日本語を交えつつ、積極的に紹介していく。

総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none">・課題設定、情報収集と精選、まとめと、課題解決の力を高めてきている。・パワーポイントの活用を計画的に取り入れ、パソコン操作能力が付いてきている。・情報収集に時間がかかってしまったり、必要のない情報を得ていたりするなどの課題がある。	<ul style="list-style-type: none">・調べるキーワードを明確にすること、課題の焦点化をさせ、見通しをもたせるようにする。
-----------	---	--